記者発表資料

平成31年度(2019年度)
国　土　交　通　省
東北地方整備局関係

青森県内事務所予算概要

平成３１年３月２９日

※発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問　い　合　わ　せ

青森河川国道事務所	青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521		
	計画課長（全般）	木村（きむら）　慎二（しんじ）	（内線２６１）
	河川副所長	安部（あべ）　剛（つよし）	（内線２０４）
	工務第一課長（河川担当）	樋川（といかわ）　満（みつる）	（内線３１１）
	道路副所長	大澤（おおさわ）　尚史（なおふみ）	（内線２０５）
	工務第二課長（道路担当）	佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）	（内線４１１）
高瀬川河川事務所	八戸市石堂３丁目７－１０　ＴＥＬ：0178-28-7135		
	技術副所長	清水野（しみずの）　豊（ゆたか）	（内線２０４）
	工務課長	金枝（かねえだ）　富勝（とみかつ）	（内線３１１）
青森港湾事務所	青森市本町３丁目６番３４号　ＴＥＬ：017-775-1394		
	副所長	照井（てるい）　和幸（かずゆき）	
	企画調整課長	齋藤（さいとう）　靖（やすし）	
八戸港湾・空港整備事務所	八戸市沼館４丁目３番１９号　ＴＥＬ：0178-22-9391		
	副所長	鈴木（すずき）　真司（しんじ）	
	企画調整課長	山谷（やまや）　教仁（のりひと）	

平成３１年度(2019年度) 青森県内事務所予算概要

青森県内の国土交通省関係事務所の平成３１年度の直轄事業予算は、下記のとおりで、河川・道路・港湾空港等の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

また、魅力ある建設業の職場環境づくりを推進するため、青森県内の公共工事について、６・７・８月の第４土曜日を一斉に休みとする取り組み『週休2日制普及促進ＤＡＹ』を昨年度に引き続き実施します。

平成３１年度(2019年度) 青森県内事業費

青森河川国道事務所

国土交通省計上分　　約　１３７億円

（内訳）

河川関係事業費　　約　３５億円

道路関係事業費　　約　１０２億円

（参考）

復興庁計上分

道路関係事業費　　約　１１億円

高瀬川河川事務所

国土交通省計上分　　約　２億円

青森港湾事務所

国土交通省計上分　　約　６億円

八戸港湾・空港整備事務所

（参考）

復興庁計上分

港湾事業費　　約　６８億円

※ 億円以下は四捨五入

※ 河川事業・道路事業・港湾事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

【平成３１年度(2019年度)予算内訳】

（単位：百万円）

			平成30年度	平成31年度	摘　　要
河　川	河川関係事業費	国土交通省計上分	1,368	3,482	青森河川国道事務所
		（参考）復興庁計上分	0	0	
	河川関係事業費	国土交通省計上分	208	208	高瀬川河川事務所
		（参考）復興庁計上分	0	0	
道　路	道路関係事業費	国土交通省計上分	8,742	10,217	青森河川国道事務所
		（参考）復興庁計上分	950	1,100	
港　湾	港湾事業費	国土交通省計上分	560	572	青森港湾事務所
		（参考）復興庁計上分	5,000	6,794	八戸港湾・空港整備事務所
空　港	空港整備事業費	国土交通省計上分	0	0	

※事業費は、業務取扱費を除く金額(工事関係費)で記載。

※河川事業・道路事業・港湾事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

※本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

平成３１年度(2019年度)

青森河川国道事務所　事業概要

平成３１年３月２９日

国土交通省　東北地方整備局

青森河川国道事務所

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央３丁目２０－３８　ＴＥＬ：017-734-4521

全　　般
計　画　課　長　木村（きむら）　慎二（しんじ）　（内線　２６１）

河　川　関　係
技　術　副　所　長　安部（あべ）　剛（つよし）　（内線　２０４）
工　務　第　一　課　長　樋川（といかわ）　満（みつる）　（内線　３１１）

道　路　関　係
技　術　副　所　長　大澤（おおさわ）　尚史（なおふみ）　（内線　２０５）
工　務　第　二　課　長　佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）　（内線　４１１）

平成３１年度(2019年度)青森河川国道事務所予算概要

青森河川国道事務所の平成３１年度の予算は以下のとおりで、河川及び道路事業の計画的な執行により、社会資本整備の一層の推進を図ります。

平成３１年度(2019年度) 事業費

		[前年比]	(H30 当 初)
■国土交通省計上分	**13,699 百万円**	[1.35]	(10,110 百万円)
(内訳)			
河川関係事業費	**3,482 百万円**	[2.55]	(1,368 百万円)
道路関係事業費	**10,217 百万円**	[1.17]	(8,742 百万円)
(参考)			
復興庁計上分			
道路関係事業費	**1,100 百万円**	[1.16]	(950 百万円)

注１）事業費は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

注２）河川事業・道路事業とも、「維持修繕関係事業費」「災害復旧費」「雪寒地域道路事業費」を除く。

【平成31年（2019年度）度青森河川国道事務所 事業概要】

青森河川国道事務所では「安全で安心して暮らせる地域」「活力ある地域」を目指して、青森県の優れた自然環境、景観、観光資源等との調和を図りつつ、地域と連携を図りながら、河川・道路事業の効率的・円滑な実施に努めます。

また、重要インフラの緊急点検の結果に基づき、防災・減災、国土強靭化のための緊急対策及びその他喫緊の課題について引き続き対応をしていきます。

１）河川事業

近年、気候変動に伴い、水害の頻度が増大しており、激甚化の恐れも高まっています。青森県内においても平成２５年９月の台風１８号等により、浸水被害が発生していることから治水安全度の向上が喫緊の課題となっています。

青森河川国道事務所では、治水安全度の向上を目指し、安心、安全な暮らしを守るために「岩木川水系河川整備計画」、「馬淵川水系河川整備計画」に基づき、水害が発生した地域における再度災害防止対策と併せて、予防的な対策を実施します。

併せて、「水防災意識社会　再構築ビジョン」としてハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。

また、良好な河川環境を保全するとともに、河川施設の的確な点検・修繕等の対策を着実に実施します。

２）道路事業

青森県は生活の足として自動車交通への依存率が高く、人口の集中する都市部を中心とした慢性的な交通渋滞や交通事故が多発しています。また、全国有数の豪雪地帯であり、冬期間の交通安全の確保も重要な課題となっています。

青森河川国道事務所では、このような県内の様々な課題に対応するため、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路の整備や安全で円滑な交通の確保を目的としたバイパス事業のほか、東日本大震災からの復興道路となる「三陸沿岸道路」など、５箇所の改築事業を実施します。

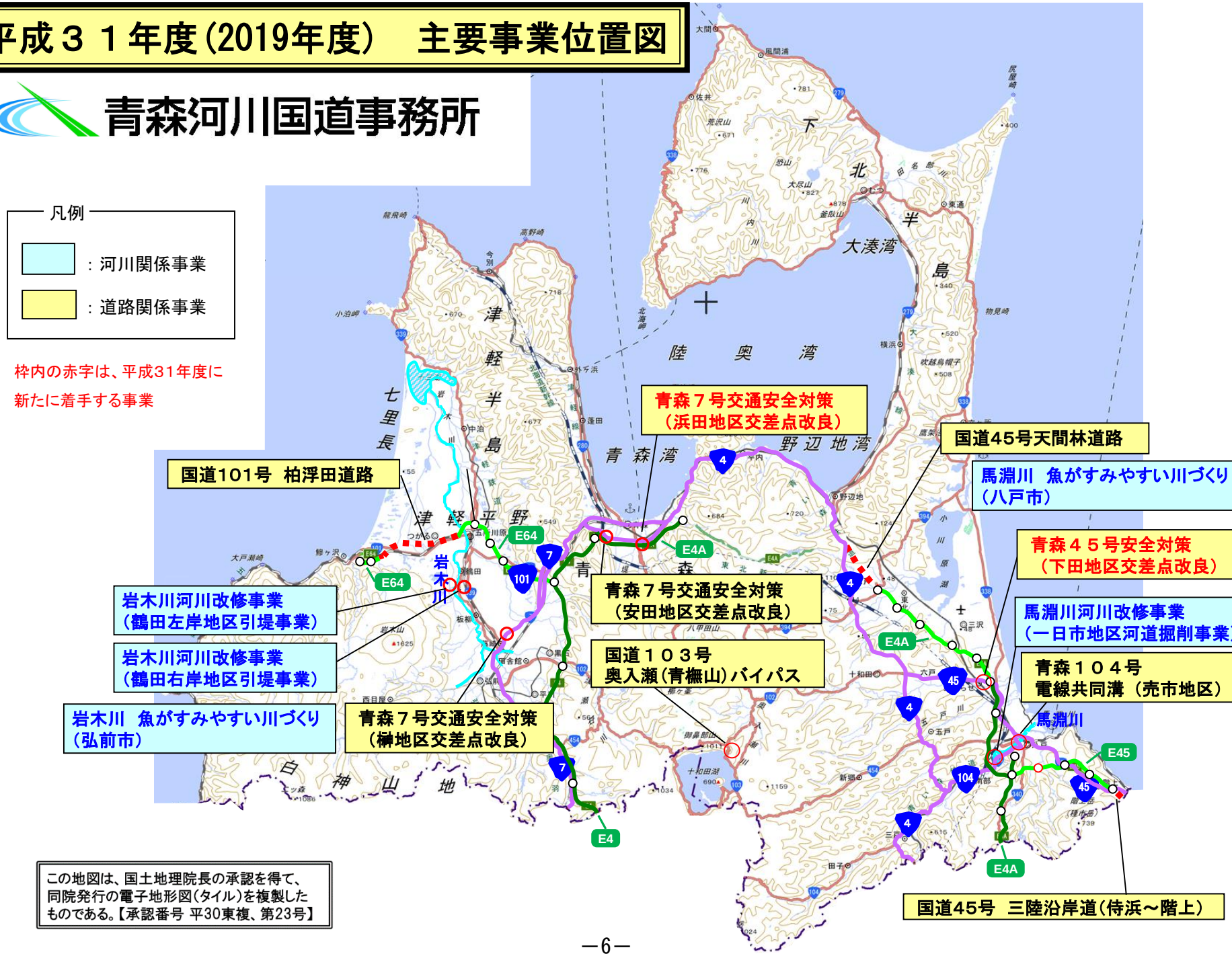
交通安全対策として、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）、交差点改良、登坂車線整備、歩道整備など、１４箇所の事業を実施します。

八戸地区の国道４５号、国道１０４号では、災害時における緊急輸送道路の確保や安全な通行空間の確保を図るため、３箇所の無電柱化推進事業を実施します。

また、国道４号、７号、４５号、１０１号、１０４号の５路線３２２．２ｋｍについて、国民生活や経済の基盤であるインフラが的確に維持されるよう、道路施設の点検を実施し維持更新や除雪を行い、安全で円滑な交通を確保します。

平成３１年度(2019年度)　主要事業位置図

青森河川国道事務所



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号 平30東複、第23号】

平成３１年度(2019年度)　河川事業のポイント

〔河川改修事業〕

＜継続事業＞

○岩木川においては、平成２５年９月の台風１８号による出水で、計画高水位を超過し、堤防天端付近まで水位が上昇した**“鶴田町鶴田右岸地区”**で築堤(引堤)を実施します。　（Ｐ－１１参照）

　また、川幅が狭く流下能力の低い**“鶴田町鶴田左岸地区”**において、保安橋の架替（上部工）等を実施します。　（Ｐ－１１参照）

○馬淵川においては、近年、洪水被害が頻発しているため、流下能力の低い**“八戸市一日市地区”**において河道掘削等を実施します。　（Ｐ－１２参照）

〔環境整備事業〕

＜継続事業＞

○馬淵川・岩木川において、川の連続性を確保するとともに、魚類等の生息環境の向上を図る**“魚がすみやすい川づくり”**を継続推進します。

平成３１年度(2019年度)　道路事業のポイント

〔改築事業〕

高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として津軽自動車道（柏浮田道路）、上北自動車道（天間林道路）や東日本大震災からの復興道路となる三陸沿岸道路（洋野階上道路）、安全で円滑な交通の確保を目的とした奥入瀬（青橅山）バイパスの整備を継続して実施します。

＜継続事業＞

○国道４５号”**天間林道路**”は、国道４号や４５号の混雑解消、物流の速達性向上等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

（Ｐ－１３参照）

○国道１０３号”**奥入瀬（青橅山）バイパス**”は、並行する国道１０３号の隘路区間解消、観光期における交通混雑の緩和を目的とするバイパス事業です。

（Ｐ－１３参照）

○国道４５号”**三陸沿岸道路（侍浜～階上）**”は、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

（Ｐ－１４参照）

〔交通安全施設等整備事業〕

交通安全対策事業は、幹線道路や通学路の交通安全の確保、事故危険箇所において集中的な交通安全施設を整備する事業です。

＜新規事業＞

○国道４５号”**下田地区交差点改良**”は交差点付近において、右折滞留車への追突事故が多発しているため、交差点改良により交通事故の削減を図る事業です。

（Ｐ－９参照）

＜継続事業＞

○国道7号”**榊地区交差点改良**”は、4車線から2車線へ幅員が減少する箇所で交通事故が多発しているため、交差点改良及び付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。

（Ｐ－１４参照）

○国道7号”**安田地区交差点改良**”は、下り線において混雑に伴う追突事故等が発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減や交通の円滑化を図る事業です。

（Ｐ－１５参照）

〔無電柱化推進事業〕

無電柱化推進事業は、「防災」、「景観・観光」、「安全・快適」の観点から、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備により、道路上から電柱をなくすことを目的とした事業です。

＜継続事業＞

○国道１０４号”**青森104号電線共同溝（売市地区）**”は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

（Ｐ－１５参照）

【平成31年度(2019年度) 新規事業化箇所一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H31事業費（百万円）	H31事業内容	頁
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策（浜田地区交差点改良）	青森市	－	30	調査設計	
道路	直轄	国道45号　青森45号交通安全対策（下田地区交差点改良）	おいらせ町	－	30	調査設計	P9

国道45号　青森45号交通安全対策（下田地区交差点改良）

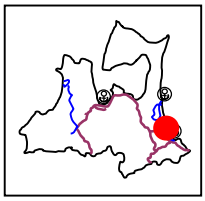
H31：30百万円

開通予定：ー

新規	青森県上北郡おいらせ町	道路	直轄

下田地区交差点改良は、交差点付近において、右折事故や混雑による右折滞留車への追突事故が多発しているため、交差点改良により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。

平成31年度は、調査設計を実施します。







▲下田ショッピング東側交差点における右折滞留状況

交差点改良により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

【主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H31事業費（百万円）	H31事業内容	備考
河川	直轄	岩木川　鶴田右岸地区引堤事業	北津軽郡鶴田町	―	（3,114）	用地取得	P11
河川	直轄	岩木川　鶴田左岸地区引堤事業	北津軽郡鶴田町	―	（3,114）	橋梁（保安橋）上部工等	P11
河川	直轄	馬淵川　一日市地区河道掘削事業	八戸市	H30年代	（331）	用地取得、河道掘削	P12
河川	直轄	馬淵川　魚がすみやすい川づくり	八戸市	H33	11	遡上調査等	
河川	直轄	岩木川　魚がすみやすい川づくり	弘前市	H36	26	瀬と淵の再生等	
道路	直轄	国道45号　天間林道路	上北郡七戸町	―	4,670	調査設計、用地補償、支障物移転、改良・橋梁工事	P13
道路	直轄	国道101号　柏浮田道路	つがる市	―	260	調査設計	
道路	直轄	国道103号　奥入瀬(青橅山)バイパス	十和田市	―	1,998	調査設計、支障物移設、改良・橋梁・トンネル工事	P13
道路	直轄	★ 国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）	三戸郡階上町	H32全線	1,100	調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	P14
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策 （榊地区交差点改良）	藤崎町	―	132	調査設計、改良工事	P14
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策 （安田地区交差点改良）	青森市	―	261	調査設計、改良工事	P15
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝 （売市地区）	八戸市	―	148	調査設計、支障物移設、本体工事	P15

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。
※　事業費の（　）の金額は、当該河川・水系全体の事業費

岩木川 鶴田右岸地区引堤事業

H31：3,114百万円※

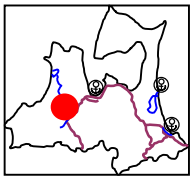
完成予定： ー

継続	青森県北津軽郡鶴田町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

平成25年9月洪水において、計画高水位を超過し、堤防天端付近まで水位が上昇したことから、川幅が狭い当該地区において、築堤（引堤）を実施します。

平成31年度は、築堤（引堤）箇所の用地取得を実施します。



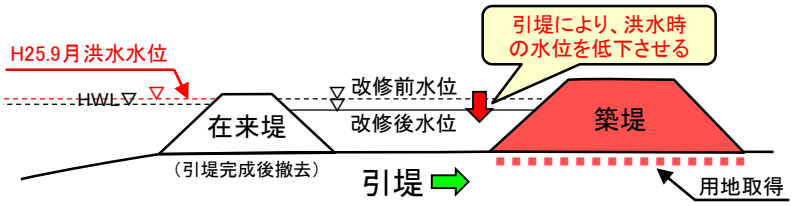




▲水位が堤防天端付近まで上昇（H25.9月洪水）



▲緊急土のう設置状況(H25.9月洪水)



岩木川 鶴田左岸地区引堤事業

H31：3,114百万円※

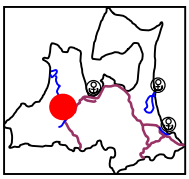
完成予定： ー

継続	青森県北津軽郡鶴田町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

鶴田左岸地区は、川幅が狭く洪水時に水が流れにくい箇所となっています。このため、現在の堤防の背面に新たに堤防を整備して川幅を拡げ、併せて保安橋の架替を行い、河川の水位を低下させます。

平成31年度は、橋梁架替（上部工）等を実施します。







馬淵川（まべちがわ）　一日市（ひといち）地区河道掘削事業

H31：331百万円※

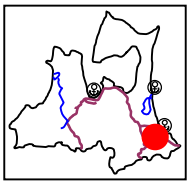
完成予定：H30年代

継続	青森県八戸（はちのへ）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

青森県南東部の主要都市「八戸市」を貫流する馬淵川において、平成23年9月洪水で被害が発生した一日市地区の流下能力向上のため、河道掘削を実施し、河川の水位を低下させます。

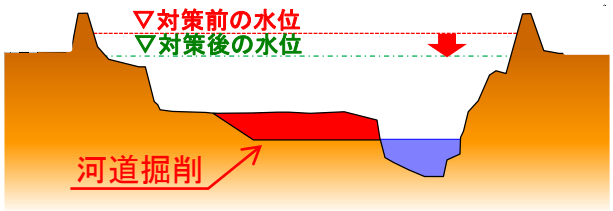
平成31年度は、掘削箇所の用地取得及び河道掘削を実施します。







河道掘削により、洪水時の水位を低下させます。



【河道掘削（イメージ）】

国道45号　天間林道路（てんまばやし）

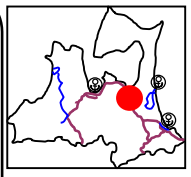
H31：4,670百万円

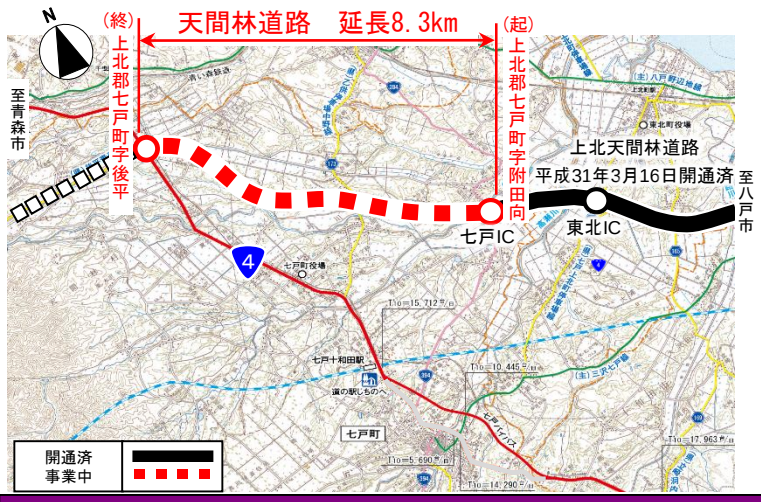
開通予定：　ー

継続	青森県上北郡七戸町（かみきたしちのへ）	道路	直轄

国道45号　天間林道路（てんまばやし）は、東北縦貫自動車道八戸（はちのへ）線の一部を構成し並行する国道4号及び45号の交通混雑緩和、物流の速達性向上等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

平成31年度は、事業展開上、時間を要する軟弱地盤対策工に本格的に着手します。







▲国道4号の交通混雑状況

天間林道路の整備により、青森市～八戸市間の連携強化、国道4号及び45号の交通混雑の緩和が図られます。

国道103号　奥入瀬（青橅山）バイパス（おいらせ　あおぶなやま）

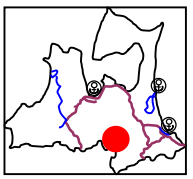
H31：1,998百万円

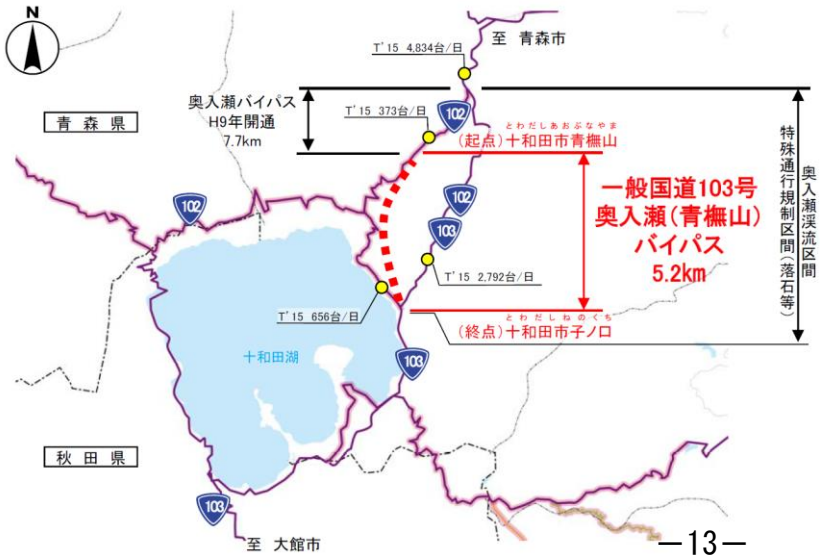
開通予定：　ー

継続	青森県十和田市（とわだ）	道路	直轄

国道103号　奥入瀬（青橅山）（おいらせ　あおぶなやま）バイパスは、並行する国道103号の隘路区間解消、観光期における交通混雑の緩和等を目的とするバイパス事業です。

平成31年度は、改良・橋梁・トンネル工事を実施します。







▲国道103号の交通混雑状況

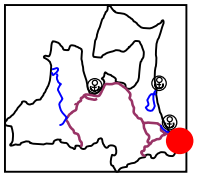
奥入瀬（青橅山）バイパスの整備により、代替路線が確保されることにより、国道103号の隘路区間の解消や交通混雑の緩和等が図られます。

国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）

H31：1,100百万円
開通予定：H32

継続	青森県三戸郡階上町～岩手県久慈市	道路	直轄

三陸沿岸道路（侍浜～階上）は、八戸・久慈自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。
平成31年度は、改良・舗装工事を実施します。







▲侍浜～階上の整備状況

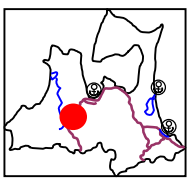
三陸沿岸道路（侍浜～階上）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

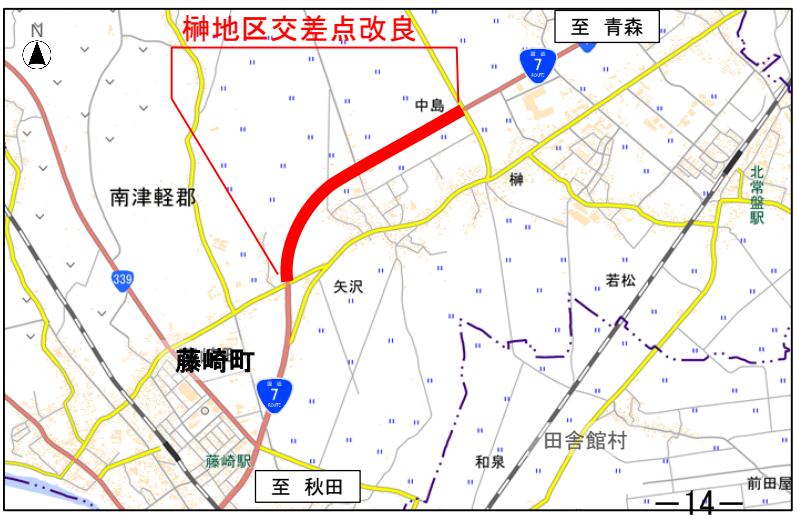
国道7号 青森7号交通安全対策（榊地区交差点改良）

H31：132百万円
開通予定：ー

継続	青森県南津軽郡藤崎町	道路	直轄

榊地区交差点改良は、4車線から2車線へ幅員が減少する箇所で交通事故が多発しているため、交差点改良及び付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。
平成31年度は、調査設計、改良工事を実施します。







▲榊地区交差点における混雑状況

交差点改良及び付加車線整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道7号 青森7号交通安全対策（安田地区交差点改良）

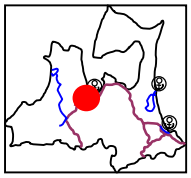
H31：261百万円

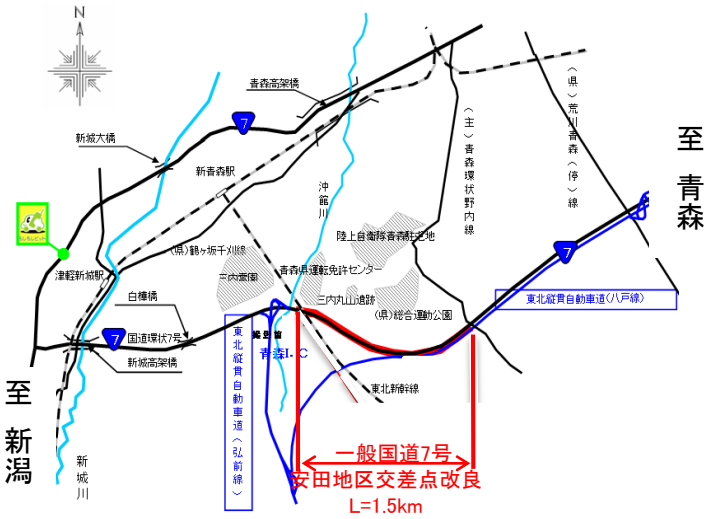
開通予定：　ー

継続	青森県青森市	道路	直轄

安田地区交差点改良は、下り線において混雑に伴う追突事故等が発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減や交通の円滑化を図る事業です。

平成31年度は、調査設計、改良工事を実施します。







▲青森I. Cから安田交差点間における混雑状況

付加車線整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道104号　青森104号電線共同溝（売市地区）

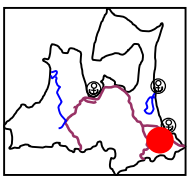
H31：148百万円

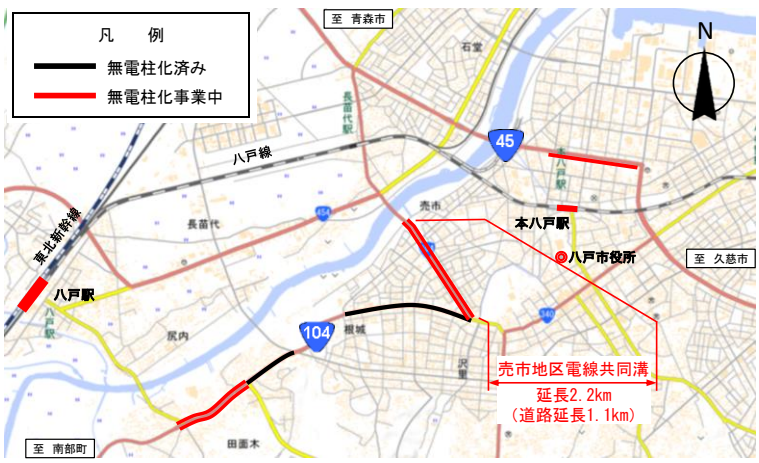
完成予定：　ー

継続	青森県八戸市	道路	直轄

売市地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

平成31年度は、調査設計、支障物移設、本体工事を推進します。







平成31年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山形県	国道112号	山形中山道路

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

青森県		下北半島縦貫道路　野辺地～七戸
岩手県	国道4号	盛岡南道路
岩手県	国道4号	北上花巻道路
宮城県	国道108号	石巻河南道路
宮城県		仙台東道路
福島県	国道4号	矢吹鏡石道路
山形県		新庄酒田道路　戸沢～立川

直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

岩手県	国道106号	宮古地区
宮城県	国道349号	丸森地区

北上花巻道路については概略ルート・構造の検討を進め、その結果を踏まえ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

青森・南部地域については、青森県と連携し、みちのく有料道路の活用も含めた幹線道路ネットワークの機能強化を検討します。

国道4号仙台拡幅については、整備方針等の検討を実施します。

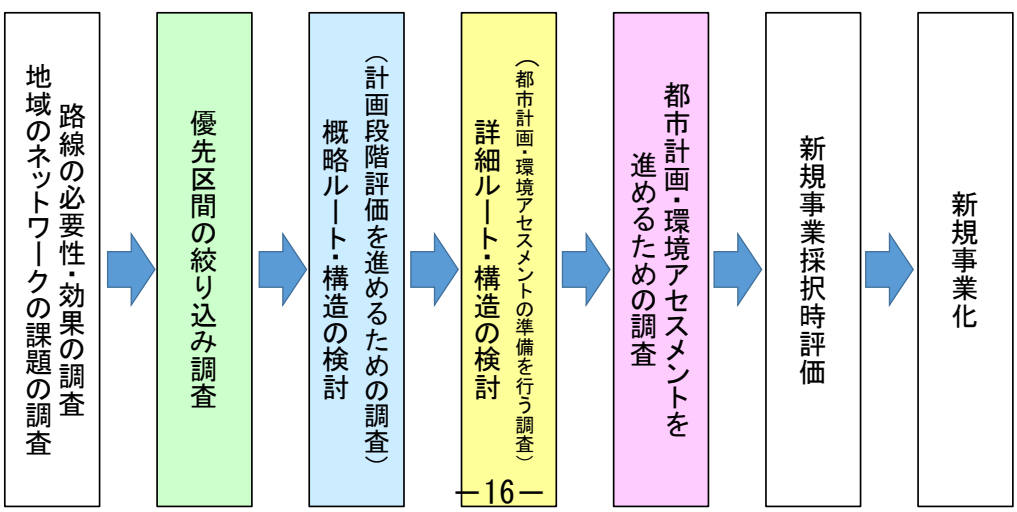
宮城県内において、国道48号上愛子地区を対象に、これまでの観光期渋滞対策の結果を踏まえた対応方針の検討を進めます。

国道112号山形地区については、幹線ネットワークの機能強化を検討します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞



平成31年度(2019 年度)
高瀬川河川事務所　事業概要

平成31年　3月29日

国土交通省　東北地方整備局
高瀬川河川事務所

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　高瀬川河川事務所 八戸市石堂三丁目7－10(TEL0178－28－7135) （しみずの　ゆたか） 技術副所長　清水野　豊（内線204） （かねえだ　とみかつ） 工務課長　金枝　富勝（内線311）

平成３１年度(2019 年度)　事業概要

１．　予算概要

平成３１年度の事業費は、以下のとおりです。

高瀬川河川事務所　平成３１年度当初予算

国土交通省計上分　　事業費　約２億円

２．　小川原湖水環境整備事業

小川原湖の水環境の保全・改善のため、調査及び試験施工を実施します。

（高瀬川河川事務所　予算内訳）

		事業費　（百万円）		適　　用
		H30 年度	H31 年度	
河川関係事業費	国土交通省　計上分	208	208	

※維持修繕関係事業費を除く

高瀬川　小川原湖水環境整備事業

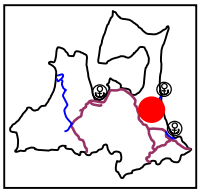
H31：144百万円

完成予定：H40年代

継続	青森県三沢市、上北郡東北町、上北郡六ヶ所村	河川	直轄

汽水環境を有する小川原湖は過去にアオコが発生する等、水質が悪化傾向を示した経緯があることから、水質改善の対策等を実施し、小川原湖水環境の改善を図ります。

平成31年度は、アオコの原因となる底泥上の植物プランクトンの増殖や湖内への巻き上がりを抑制するための覆砂の試験施工を実施します。







アオコの発生状況

平成３１年度(2019年度)

青森県内港湾空港関係事務所
事業概要

平成３１年３月

国土交通省　東北地方整備局
青森港湾事務所
八戸港湾・空港整備事務所

問い合せ先

青森港湾事務所　青森市本町３丁目６番３４号　TEL:017-775-1394
副所長　照井（てるい）　和幸（かずゆき）
企画調整課長　齋藤（さいとう）　靖（やすし）

八戸港湾・空港整備事務所　八戸市沼館４丁目３番１９号　TEL:0178-22-9391
副所長　鈴木（すずき）　真司（しんじ）
企画調整課長　山谷（やまや）　教仁（のりひと）

１．港湾空港関係事業の概要

青森県内における直轄港湾空港関係予算（東北地方整備局執行分）は、当初予算約７４億円（対前年度比１．３２５）。

平成３１年度の港湾空港関係事業について、青森港においては、港湾施設の機能維持や延命化を図るため、老朽化対策として本港地区及び沖館地区の岸壁改良を行います。

八戸港においては、防波堤を整備し、八太郎地区及び河原木地区の安定的な海上輸送確保により臨海部企業の国際競争力強化、雇用の安定的な確保を図るとともに、荒天時における避泊水域を確保し沖合航行船舶の海難事故減少を図ります。

２．事業費および主要事業内容

（単位：百万円）

港　　名	平成３１年度 事業費	主な事業内容
青　森　港	５７２	本港地区・沖館地区老朽化対策
八　戸　港	６，７９４	八太郎・外港地区防波堤整備事業
合　計	７，３６６	

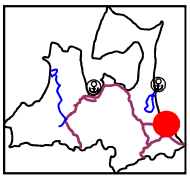
八戸港　八太郎・外港地区　防波堤整備事業

H31：556百万円

完成予定：H32

継続	青森県八戸市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内の静穏性を向上させ、荷役作業の安全性、効率性を高めます。また、避泊水域※を確保することで沖合を航行する船舶の海難事故防止を図ります。







▲河原木地区岸壁での荷役状況

※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所